

資料5

配分 表章および実質化の考え方について (手法の紹介)

1. 配分

(1) 制度部門への配分

93SNAでの定義

FISIMを様々な利用者に配分する場合、取るべきひとつの可能性は、現実の支払利子率（受取利子率と参照利子率との差額）に基づいて配分することである。必要な情報が利用可能である場合、以下の推計値を計算し、それを用いて産出総額の配分を行う。(a)金融仲介機関がその資金を貸出す利用者単位について、貸付等に対して実際に課せられた利子と参照利子率が用いられる場合に支払われるはずの額との差額。(b)金融仲介機関がその資金を借入れる利用者単位について、参照利子率が用いられる場合にそのような人々が受取るはずの利子と実際に彼らが受取った利子との差額(6.127)。

EU案

制度部門ごとに、金融仲介機関との取引に係る受取・支払利子、運用・調達残高からFISIMを計測することが勧告されている。

その他

カナダのように、これらのデータの入手が困難なこともあり、残高のみで配分する方法を採用している国もある。

わが国

基礎統計から、各制度部門と金融仲介機関の間の受取利子、支払利子を完全に捕捉することは困難である。このため、FISIMの国内消費総額を、補助的情報を使って制度部門別に配分を行う方法をとった。

(2) 手法の紹介 (制度部門別)

FISIMの国内消費総額を推計し、この国内消費総額を、借り手側、貸し手側それぞれについて、以下の方法で分割した。

資金の借り手側のFISIMの配分については、各制度部門から金融機関（金融仲介機関の他、保険会社等を含む）への支払利子（金融機関からの借入残高を推計し、参照利子率を用いて、制度部門別のFISIM'（仮計算値）を計測した。このFISIM'に従って借り手FISIMの国内消費総額を制度部門別に配分した。

* 金融機関の貸出のうち、金融仲介機関の貸出が占める比率は非常に大きいため、この方法でも概ね適切な結果が得られると考えられる。

資金の貸し手側の FISIM の配分は次の方法で行った。各制度部門が金融仲介機関から受取った利子の把握は困難であるため、各制度部門の保有する FISIM 対象金融資産（預金及び金融債）の残高に従って貸し手側の FISIM の国内消費総額を配分した。

* 制度部門別の受取利率が同じであれば、制度部門別に受取利子、運用残高から FISIM を推計することと、総額を資産残高で分割することは同じ結果になる。実際に、貸出金利とは異なり、預金金利の場合は、制度部門別にそれほど大きな差はないと考えられるため、この方法によっても概ね適切な結果が得られると考えられる。

(3) 家計部門の分割

家計部門の FISIM は、更に消費者家計と家計企業（個人企業と住宅サービスの生産者）に分割される必要がある。前者は最終消費支出に配分され、後者は中間消費に配分される。この家計部門の分割は、特に、資金の貸し手側で、これらを区別した預金残高等の基礎統計の不足から、困難となっている国も多く、一部、補助的情報を用いて推計する必要がある。

(4) 手法の紹介（家計部門）

資金の借り手側の FISIM の分割は（1）の制度部門への配分同様、金融機関（金融仲介機関の他に生命保険会社等を含む）に対する、a) 消費者信用、b) 住宅ローン、c) 個人企業向け貸出の残高、利子を推計して FISIM を計測し、その値に従って（1）で得られる家計部門の金額を分割した。a) が消費者家計に、b) 及び c) が家計企業に配分される。

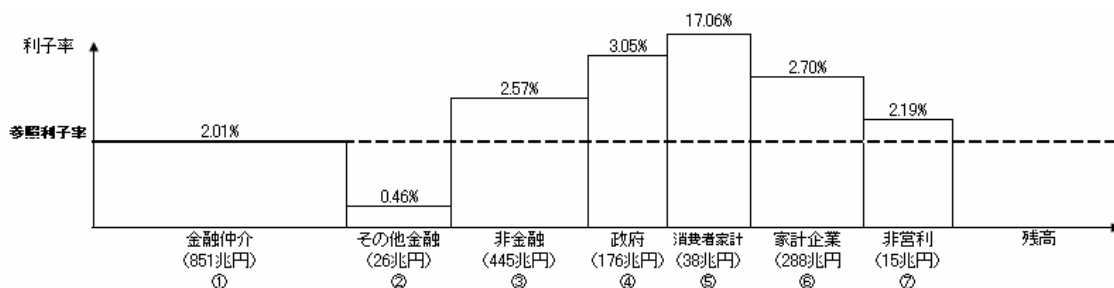
資金の貸し手側の FISIM の分割は、資金循環勘定からは消費者家計、家計企業別の預金残高は得られないため、補助的情報を用いて推計した預金残高により分割する方法を採った。世帯を対象としたサーベイ調査である貯蓄動向調査（総務省）及び全国消費実態調査（総務省）を利用して、世帯の属性別の預金残高が把握できる。勤労者世帯などは消費者家計と、個人営業世帯、農林漁家世帯などは家計企業とみなすことで、それぞれの預金残高を推計し、そうして得られた消費者家計、家計企業別の預金残高の比率に従い、（1）で得られた家計部門の金額を分割した。

図表 5 - 1 .FISIM の制度部門別消費額

単位：10億円

	1990年度	1991年度	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度
国内産出額	11,466	14,523	14,981	15,332	17,368	18,778	19,369	19,382	19,802	19,649	20,799	23,328
借入手	6,487	9,935	10,370	11,366	12,233	10,902	10,157	10,452	11,782	10,897	11,207	11,073
貸し手	4,979	4,588	4,611	3,966	5,135	7,876	9,212	8,931	8,020	8,752	9,592	12,255
輸出額	327	324	313	301	409	484	630	660	658	487	548	541
借入手	131	179	187	210	272	270	328	354	424	330	353	336
貸し手	196	144	126	91	137	214	302	306	234	157	195	204
輸入額	191	213	236	225	290	339	363	401	438	310	364	466
借入手	65	107	123	144	178	163	170	201	258	161	192	218
貸し手	127	106	113	81	113	177	192	199	181	149	172	248
国内消費額	11,331	14,412	14,905	15,257	17,249	18,633	19,102	19,123	19,582	19,472	20,615	23,253
借入手	6,421	9,863	10,306	11,300	12,138	10,794	10,000	10,299	11,616	10,728	11,046	10,955
貸し手	4,909	4,550	4,599	3,956	5,111	7,839	9,102	8,824	7,967	8,744	9,569	12,298
金融機関 (A)	409	407	445	426	550	725	798	790	732	507	465	611
借入手	47	86	99	120	152	137	146	172	169	-46	-93	-60
貸し手	362	320	346	306	398	588	652	618	563	553	559	671
非金融法人 (B)	5,258	7,221	6,341	5,829	5,984	5,174	4,381	4,210	4,500	4,153	4,452	4,182
借入手	4,252	6,343	5,528	5,168	5,165	3,938	2,979	2,916	3,341	2,879	3,101	2,444
貸し手	1,006	878	813	661	819	1,236	1,402	1,294	1,159	1,274	1,351	1,738
一般政府 (C)	540	556	1,038	1,368	1,779	2,382	2,762	2,761	2,869	3,070	3,272	3,723
借入手	-194	-156	293	713	927	1,077	1,230	1,257	1,494	1,552	1,604	1,623
貸し手	733	712	745	654	853	1,306	1,533	1,504	1,375	1,518	1,668	2,100
家計	4,939	5,990	6,844	7,401	8,706	10,122	10,933	11,161	11,268	11,543	12,213	14,471
借入手	2,266	3,472	4,267	5,163	5,787	5,593	5,613	5,935	6,550	6,299	6,387	6,898
貸し手	2,673	2,517	2,577	2,238	2,919	4,530	5,319	5,227	4,717	5,245	5,826	7,574
内消費者家計 (D)	3,115	4,070	4,524	4,593	5,685	7,322	8,157	8,469	8,478	8,826	9,061	10,744
借入手	1,124	2,160	2,536	2,848	3,385	3,744	3,963	4,382	4,729	4,569	4,418	4,808
貸し手	1,991	1,910	1,989	1,744	2,300	3,578	4,194	4,087	3,749	4,257	4,643	5,936
内家計企業 (E)	1,824	1,919	2,320	2,808	3,021	2,801	2,775	2,692	2,790	2,717	3,152	3,727
借入手	1,142	1,312	1,732	2,315	2,402	1,849	1,650	1,553	1,822	1,730	1,969	2,090
貸し手	682	607	588	494	619	951	1,125	1,139	968	988	1,183	1,637
対家計民間非営利 (F)	185	239	237	234	229	229	229	200	214	199	212	266
借入手	49	117	119	136	108	49	32	19	62	45	47	50
貸し手	135	122	118	98	122	180	197	181	152	154	165	216
中間消費 (A+B+E)	7,491	9,547	9,106	9,063	9,556	8,700	7,954	7,692	8,022	7,377	8,070	8,520
借入手	5,441	7,741	7,358	7,603	7,719	5,925	4,775	4,641	5,331	4,563	4,977	4,474
貸し手	2,050	1,806	1,747	1,460	1,836	2,775	3,179	3,052	2,691	2,814	3,093	4,046
最終消費 (C+D+F)	3,840	4,865	5,799	6,194	7,693	9,933	11,149	11,430	11,561	12,095	12,545	14,733
借入手	980	2,121	2,947	3,697	4,419	4,870	5,225	5,658	6,285	6,166	6,069	6,481
貸し手	2,860	2,744	2,851	2,496	3,274	5,063	5,924	5,772	5,276	5,929	6,476	8,252

図表 5 - 2 .制度部門別借り手 FISIM (計数は仮の数字)



2. 配分の表章形式

(1) 従来との対比

表5-2~5-4のような形で、FISIMの配分前と後で計数の変化が生じる。

(2) 検討課題

所得支出勘定における各制度部門間の利子の受払いは、参照利子率による受払いとなり、実際に各制度部門が受払いしている利子とは異なる形での表章となる。このため、SNAの利用者に従来とは扱いが異なっているとの説明を充分に行う必要がある。

表5-3. 一国経済の所得支出勘定の変化

(2001年度確々報値ベース、単位10億円)			
	FISIM配分前	FISIM配分後	
第1次所得の配分勘定			
財産所得(支払)	104,817	106,117	
内利子	83,001	84,301	金融機関の貸し手FISIM産出分増加、全制度部門の借り手FISIM消費分減少 -
第1次所得バランス(純)	406,025	420,758	の結果、全制度部門のFISIM最終消費分が増加 -
支払	510,842	526,875	
営業余剰・混合所得(純)	87,324	102,132	金融機関のFISIM産出分増加、全制度部門のFISIM中間消費分減少 -
雇業者報酬	271,860	271,860	
生産 輸入品に課される税 - 補助	38,295	38,295	
財産所得(受取)	113,363	114,588	
内利子	89,416	90,641	金融機関の借り手FISIM産出分減少、全制度部門の貸し手FISIM消費分増加 -
受取	510,842	526,875	
所得の第2次分配勘定			
経常移転(支払)	269,260	269,260	
可処分所得(純)	405,527	420,260	の結果、全制度部門のFISIM最終消費分が増加 -
支払	674,787	689,520	
第1次所得バランス(純)	406,025	420,758	の結果、全制度部門のFISIM最終消費分が増加 -
経常移転(受取)	268,762	268,762	
受取	674,787	689,520	
可処分所得の使用勘定			
最終消費支出	372,136	386,869	全制度部門のFISIM最終消費分が増加 -
年金基金準備金の変動(支払)	1,973	1,973	
貯蓄(純)	33,391	33,391	の結果、変化なし
支払	407,500	422,233	
可処分所得(純)	405,527	420,260	の結果、全制度部門のFISIM最終消費分が増加 -
年金基金準備金の変動(受取)	1,973	1,973	
受取	407,500	422,233	

表5 - 4. 金融機関の所得支出勘定の変化

(2001年度確々報値ベース、単位10億円)

	FISIM配分前	FISIM配分後	
第1次所得の配分勘定			
財産所得(支払)	47,776	60,091	
内利子	37,000	49,315	生産者としての貸し手FISIM産出分増加、消費者としての借り手FISIM消費分減少 -
第1次所得バランス(純)	18,090	18,090	の結果、変化なし
支払	65,866	78,180	
営業余剰(純)	-8,129	14,588	生産者としてのFISIM産出分増加、消費者としてのFISIM消費分減少 -
財産所得(受取)	73,994	63,592	
内利子	71,155	60,753	生産者の借り手FISIM産出分減少、消費者としての貸し手FISIM消費分増加 -
受取	65,866	78,180	
所得の第2次分配勘定			
経常移転(支払)	15,485	15,767	以下、変化なし
可処分所得(純)	17,698	17,837	
支払	33,183	33,605	
第1次所得バランス(純)	18,090	18,667	
経常移転(受取)	15,093	14,938	
受取	33,183	33,605	
可処分所得の使用勘定			
年金基金準備金の変動(支払)	1,793	1,944	
貯蓄(純)	15,729	15,893	
支払	17,698	17,837	
可処分所得(純)	17,698	17,837	
受取	17,698	299,153	

表5 - 5. 家計の所得支出勘定の変化

(2001年度確々報値ベース、単位10億円)

	FISIM配分前	FISIM配分後	
第1次所得の配分勘定			
財産所得(支払)	15,210	8,312	
内利子	14,848	7,950	家計全体の借り手FISIM消費分減少 -
第1次所得バランス(純)	328,814	339,560	の結果、借り手・貸し手FISIM最終消費分増加 -
支払	344,024	347,872	
営業余剰・混合所得(純)	50,918	47,191	家計企業のFISIM中間消費分減少 -
雇業者報酬	271,860	271,860	
財産所得(受取)	21,247	28,821	
内利子	6,095	13,669	家計全体の貸し手FISIM消費分増加 -
受取	344,024	347,872	
所得の第2次分配勘定			
経常移転(支払)	119,190	119,190	
可処分所得(純)	296,345	307,091	の結果、借り手・貸し手FISIM最終消費分増加 -
支払	415,535	426,281	
第1次所得バランス(純)	328,814	339,560	の結果、借り手・貸し手FISIM最終消費分増加 -
経常移転(受取)	86,721	86,721	
受取	415,535	426,281	
可処分所得の使用勘定			
最終消費支出	278,803	289,549	消費者家計のFISIM最終消費分増加 -
貯蓄(純)	19,515	19,515	の結果、変化なし -
支払	298,318	309,064	
可処分所得(純)	296,345	307,091	の結果、借り手・貸し手FISIM最終消費分増加 -
年金基金準備金の変動(受取)	1,973	1,973	
受取	298,318	309,064	
(参考)貯蓄率	6.5%	6.3%	の結果、低下

3 .FISIM の実質化

(1)FISIM の実質化の考え方

残高デフレーターと利ざやデフレーターを使用することにより物価変動要因及び金利変動要因を除去することで、預金・貸付金残高の変動要因に限った FISIM への影響をみる。

計算式については、EUROSTAT、豪州は以下のとおりであり、我が国でも同様の手法を用いて試算を行っている。

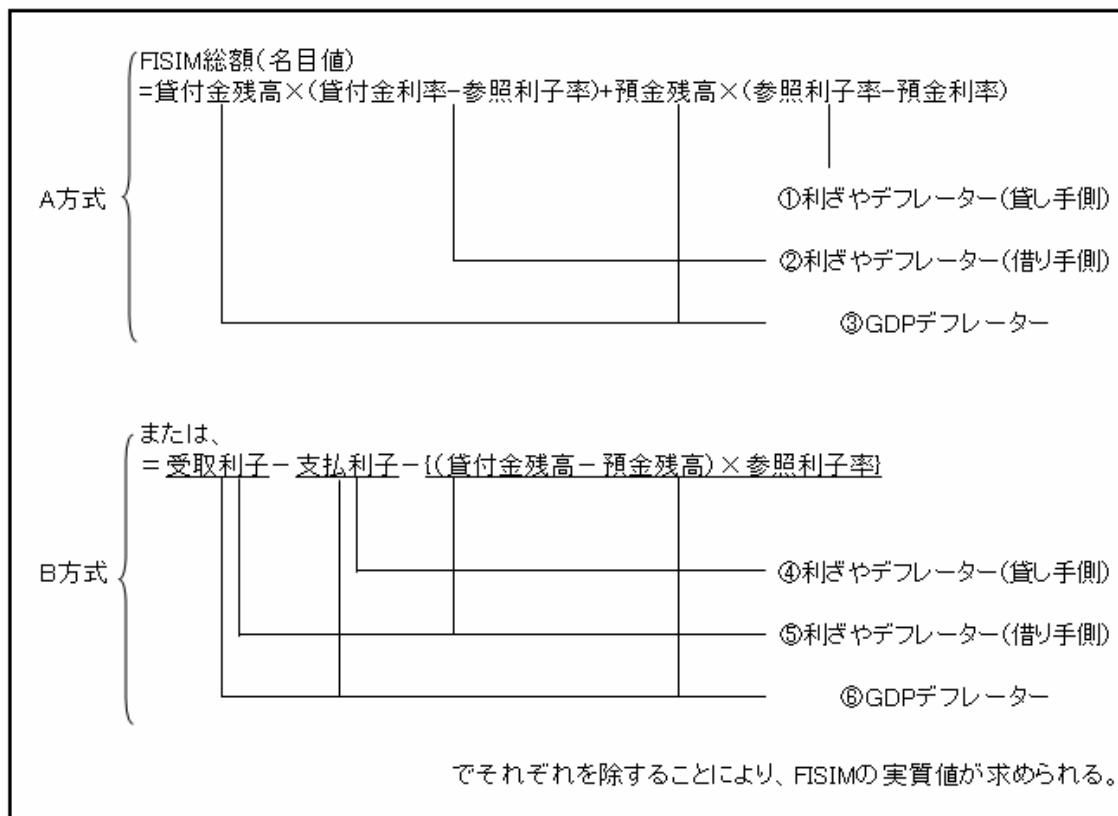
ただし、残高デフレーターに関しては各国の対応は異なる。我が国では GDP デフレーターの使用を考えているが、EUROSTATでは国内需要デフレーター、豪州では CPI デフレーターを簡便的に使用している。

利ざやデフレーター (借り手)

= 比較年度 (貸付金利率 - 参照利子率) / 基準年度 (貸付金利率 - 参照利子率)

利ざやデフレーター (貸し手)

= 比較年度 (参照利子率 - 預金利率) / 基準年度 (参照利子率 - 預金利率)



(2)計算例 (A方式)

前提 (X年度を基準年とする)

	FISIM 総額 (名目)	貸付金利率	参照利率	
X年度	1,000	1.0%	0.5%	
Y年度	1,275	1.3%	0.6%	
預金利率	貸付金残高	預金残高	GDP デフレーター	
0.1%	120,000	100,000	1	(100.0)
0.3%	135,000	110,000	1.01	(101.0)

Y年度 名目 FISIM 総額実質化

借り手、貸し手の利ざやデフレーターを求める。

ア.利ざやデフレーター (借り手) $(1.3\% - 0.6\%) / (1.0\% - 0.5\%) = 1.4$ (140.0)

イ.利ざやデフレーター (貸し手) $(0.6\% - 0.3\%) / (0.5\% - 0.1\%) = 0.8$ (80.0)

A方式の式を利用

$(135,000 / 1.01) * (1.3\% - 0.6\%) / 1.4 + (110,000 / 1.01) * (0.6\% - 0.3\%)$

= 1,104 (小数第一位を四捨五入)

(以上)